

(様式-1)

ICTアドバイザー活動報告書

1	実施(予定)日時	2025/8/26	
2	アドバイザー企業・団体名	株式会社金本組	
3	依頼者	株式会社	
4	実施場所	宮崎県宮崎市清武町	
5	対象人数	20人	
6	区分	技術支援	<input type="checkbox"/> -I 3次元計測関係 <input type="checkbox"/> -II 3次元設計データ作成関係 <input type="checkbox"/> -III ICT建設機械による施工関係 <input type="checkbox"/> -IV 3次元施工管理関係 <input type="checkbox"/> -V 総合マネジメント
		講師	<input checked="" type="checkbox"/> -VI ICT施工の研修・講習会
7	実施内容		
<p>【目的】</p> <p>・i-construction2.0における施工のオートメーション化について、2040年度までに建設現場の省人化を30%達成、生産性を1.5倍に向上することを目標とされているが、我々中小建設会社レベルで実際にチャレンジしている様子を建設機械販売・リースする企業の皆さんに見学していただき、有用性を確認する。</p> <p>【体験会内容】</p> <p>・自動化施工型油圧ショベルでどの程度省人化できるか確認する。 ・ゲームパッドなどのライト装備で遠隔操作を体験する。</p> <p>【その他】</p> <p>・依頼者の要請で見学会を企画。 県内各社に声をかけ、合計6社20名で実施した。 ・宮崎日日新聞の紙面にて紹介されました。</p>			
  			
<p>プロジェクト概要</p> <p>【宮崎県初の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none">油圧ショベルによる土砂中継作業に着目部分的な自動化（オートマッチング機能の導入） <p><small>※画像中央の黄色の車輪がオートマッチング機です</small></p> <p>【チャレンジ】</p> <ul style="list-style-type: none">中継作業の実践活用での肌感省人化の効果検証遠隔操作機としての災害時即時対応性ライトな装備による実践確認 <p>河野の脳内イメージをチャッピーで画像化</p>  <p>KANEMOTO GROUP</p>			